

平成 28 年 4 月吉日

一般社団法人 日本建設業連合会 御中

一般社団法人 日本塗料工業会

一般社団法人 日本サッシ協会

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会

鉛酸カルシウムさび止めペイントの廃止計画と代替塗料のご案内

貴連合会ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

早速ですが、表題の件に関しましてご連絡申し上げます。

既にご承知の通り、鉛含有塗料廃絶については、2002年ヨハネスブルグサミット以降、国際的な動きの中で「2020年までに達成する」ことを目標に各国で進められています。（詳細背景等は日本塗料工業会発行パンフレット「鉛含有塗料に関するお知らせとお願い」をご参照ください。）

国内において貴連合会が関係する建築物塗装工事での鉛含有塗料は、亜鉛めっき鋼板を用いた鋼製建具に使用する「鉛酸カルシウムさび止めペイント（JIS K 5629）」だけが引き続き使用されていました。この間、日本塗料工業会では、日本サッシ協会／日本シャッター・ドア協会の協力のもとで検討を行い、代替となる仕様を確立することができ、平成 28 年版公共建築工事標準仕様書及び同改修工事標準仕様書に採用される運びとなりました。

以下、代替塗料のご紹介と鉛酸カルシウムさび止めペイントの廃止についてご案内申し上げます。

—記—

1. 代替塗料について

上記 3 団体共同で代替検討を実施した結果、作業性や塗膜性能などバランスの取れた品質として「1液形変性エポキシ樹脂塗料」を選定しました。

本代替品は、日本塗料工業会規格 JPMS 28「一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント」として制定され、平成 28 年版公共建築工事標準仕様書（建築工事編）及び同改修工事標準仕様書に採用されました。今回の標準仕様書改定に伴い、塗装を行う亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえについて、鋼製建具等に使用する亜鉛めっき鋼板ではクロム酸処理が削除されました。（ただし、塗装鋼板等は除く。）また、現場で鉛酸カルシウムさび止めペイントを塗装する際に化学処理として使用していたエッチングプライマー（クロム酸塩含有）が不要となったことも併せて、鉛・クロムフリーの仕様が確立されました。

※JPMS 28 規格内容は、日本塗料工業会のホームページにて公開しています。

なお、本代替品は主要塗料メーカー各社で商品化されており、供給体制も問題ありません。

上塗り適合性・価格等についての問い合わせは、各メーカーにお願いいたします。

2. 鉛酸カルシウムさび止めペイントの廃止について

前述の通り、標準仕様書から鉛酸カルシウムさび止めペイントが削除されたことに伴い、併行して経済産業省に対して JIS K 5629 の廃止申請を進めています。

一方、本塗料の生産中止時期については、原材料（鉛酸カルシウム顔料）の供給体制や塗料使用者側（ユーザー）との兼ね合いもあり、早まることも考えられますので、早めに塗料メーカーにご相談の上、検討を進めていただく必要があると認識しています。

以上、ご案内いたします。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。